

GET OVER!!

H29 年度入学生 3年クラス通信

第093号

令和元年9月24日(火)

長野吉田高校 戸隠分校

文責;担任 古澤 広人



9/20 (金) 前期総合学習 ~最終回~ 茅の搬出&葺き替え見学をしました!!



松澤さんはとても気さくに、丁寧に説明してくれましたね。

★雨漏りしない構造になっているし、また、何百人乗っても潰れないやね。 (すごい、科学的だ!!)

★作業はすべて手作業で、手間がかかる。葺き替え職人は長野県では10人くらい。全国でみれば多い方だ。それでも年収は500万円くらいかな? (人間国宝級だぞ!!)

★茅は一束1000円で買う。葺き替えには約3000束使う。(材料だけで300万円だ!!)

茅の束を針金で縛る作業を全員で行いました。「好きな人や物」「嫌いな人や物」を呼びながら行うときつく縛れるよ、と松澤さん

からのアドバイスでした。一人一人呼びながら、作業を行いました。生徒からもたくさん質問が出て、いろいろと興味・関心が湧いた様子でした。

日本古来の伝統文化に触れる、とても貴重な体験をさせてもらい、感激しながら学校へ戻りました。長野市教育委員会文化財課の方々、多くの職人の皆さん、ありがとうございました。

農場NOW!!

夏野菜たちよ、ありがとう!! 撤収作業をしました

『今日久しぶりの農場で、片付けをしました。名残惜しいですが、たくさん収穫できたのでいい思い出でした。』(9/19学級日誌から)



キュウリ、トマトの棚を撤去



裸の少年、大根の間引き・草取り



黒岩先生の嫌いな物「○○止めちまえ!!」

「晴耕雨読」チームは茅の搬出作業を、「戸隠太鼓」チームは葺き替えの見学をそれぞれ行いました。

中社の葺き替え現場では、小谷屋根の松澤さんから茅葺き屋根の仕組み・構造・作業工程の説明を受けました。

★茅葺き屋根は「生きている」。断熱性・保温性・通気性を兼ね備えた屋根である。(先人達の知恵の結晶ですね!!)

★葺き替えでは古茅は再利用される。不要となった茅もすべて肥料として使え、鉄や新素材のように廃材が一切出ない。(とてもエコだ!!)



... 大塚先生の愛情込めた手入れのおかげで夏野菜たちがそれに答えてくれました。残すは「大根」「白菜」「野沢菜」「サツマイモ」ですね。(担任)

「間引くときは野菜に話しかけて」とおつかせんせい、はなしころのこのりの大塚先生の話が心に残りました。

「はやく、大きくなーれ」